

第163期

株主の皆様へ

平成27年4月1日～平成28年3月31日

証券コード 5406

KOBELCO

お知らせ

- 「株主様見学会参加者募集のご案内」を6ページに掲載しております。

株式会社 **神戸製鋼所**

素材系事業・機械系事業・電力事業の 3本柱による事業成長戦略を推進し 盤石な事業体の確立を目指します。

代表取締役会長兼社長

川崎博也



株主の皆様には、格別のご高配を賜わりありがたく厚く御礼申し上げます。

当社グループの2015年度の連結業績は、後述の「業績のご報告」でもご説明しておりますとおり、減収となり、営業利益・経常利益は減益、親会社株主に帰属する当期純損益は、損失となりました。

当期の配当につきましては、すでに1株あたり2円の中間配当を実施いたしました。親会社株主に帰属する当期純損益が大幅な赤字となったことや、不透明な経営環境の中でも成長に向けた戦略投資が必要なことなどを考慮し、期末配当は見送りとさせていただきます。株主の皆様のご期待に沿えず申し訳ございませんが、事情をご賢察のうえ、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

さて、当社グループはこれまで、「2013～2015年度グループ中期経営計画」に取り組んでまいりました。財務体質の改善やキャッシュの創出などで一定の成果も上げることができましたものの、2015年度に大幅な減益を余儀なくされ、収益力の強化などに課題を残す結果となりました。

これまでの取組みの内容や結果を精査したうえで、本年4月に、新たな中期経営計画として、「2016～2020年度グループ中期経営計画」を発表いたしました。当社グループが進めてきた素材系事業、機械系事業、電力事業の3本柱による成長戦略を一層深化させることが、課題である収益力強化、ひいては事業基盤の強化につながるとの認識のもと、具体的な施策を掲げました。

例えば、素材系事業では、加古川製鉄所への上工程集約といった収益力強化策の推進に加え、自動車や航空機といった輸送機の軽量化ニーズに対し、マルチマテリアル

化の推進をはじめとする当社独自の素材・接合技術で応えることで事業の拡大を進めてまいります。機械系事業では、圧縮機分野で大型ターボ圧縮機への参入など、エネルギー・インフラ向けの事業拡大を進めます。加えて、喫緊の課題である建設機械事業の収益力強化も進めてまいります。電力事業については現在進行中の2つの発電所建設プロジェクトを着実に推進し、安定収益基盤の確立を図ります。

また、こうした事業成長戦略の推進を支えるものとして、監査等委員会設置会社への移行や業績連動性を高めた役員報酬制度の導入などコーポレートガバナンスの強化にも既に着手しているほか、人材育成、ものづくり力

の強化にも引き続き取り組んでまいります。

国内外の経済環境の先行きは、依然不透明な状況ではありますが、当社グループは、安全・コンプライアンスの徹底、社会との共生を大前提としながら、こうした取り組みを着実に進めることで、強固な事業基盤の強化に取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後ともご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

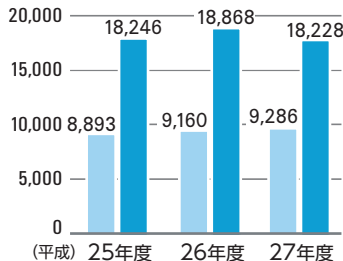
平成28年6月

※中期経営計画の詳細につきましては、当社ホームページをご覧ください。

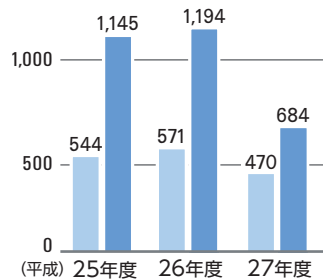
業績ハイライト(連結) (表示金額は、単位未満の数字を切り捨てております。)



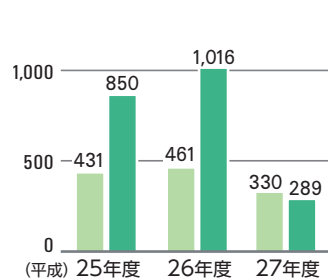
■ 上半期 ■ 通期 (単位:億円)



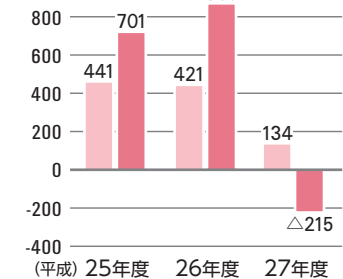
■ 上半期 ■ 通期 (単位:億円)



■ 上半期 ■ 通期 (単位:億円)



■ 上半期 ■ 通期 (単位:億円)



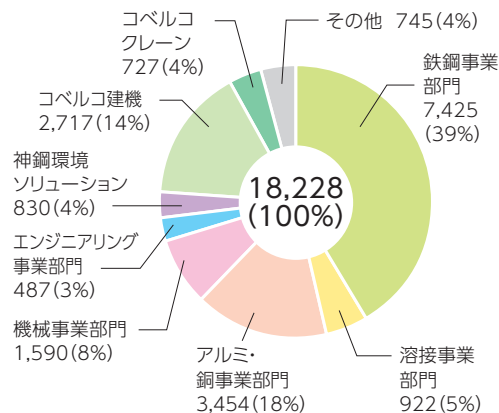
■当期の概況

当期のわが国経済は、内外需の停滞による景況感の悪化はあったものの、公共投資は減少傾向ながら高水準を維持し、企業の設備投資も底堅く推移するなど、緩やかな回復基調が継続しました。また、海外では、米国や欧州においては、緩やかながら景気回復が継続したものの、中国や東南アジアにおいては、景気減速が継続し、全体感としては先行きが不透明な状況が継続しました。

このような経済環境のもと、当社グループにおいては、鋼材の販売数量は、造船向けの需要が堅調に推移したものの、自動車向けの需要が減少したことなどから、前期並となりました。アルミ圧延品の販売数量は、飲料用缶材の需要が堅調に推移したことなどから、前期を上回りました。銅圧延品の販売数量は、銅板条において半導体向けの需要が減少したことなどから、前期を下回りました。油圧ショベルの販売台数は、景気減速の影響が大きい中国や東南アジアにおいて需要が大幅に減少したことなどから、前期を下回りました。

この結果、当期の売上高は、主原料価格の値下がり等により鋼材販売価格が下落した影響もあり、前期に比べ640億円減収の1兆8,228億円となり、営業利益は、前期に比べ510億円減益の684億円となりました。経常利益は、上記に加え、中国の建設機械事業において貸倒引当金を計上したことなどから、前期に比べ727億円減益の289億円となりました。また、主に、中国における建設機械分野の急速な事業環境悪化に伴い、投資有価証券評価損や保証債務の損失引当などについて関係会社事業損失を計上するなど、特別損益は395億円の損失となりました。その結果、親会社株主に帰属する当期純損益は、前期に比べ1,081億円減益の215億円の損失となりました。

事業別売上高(平成27年度) (単位:億円)



(注)上記円グラフの各事業の売上高の合計から、各事業間の内部売上高等の消去額673億円を差し引いた金額が、連結売上高の合計額18,228億円となります。なお、各事業別の比率は、各事業の売上高の合計をもとに算出しております。



鉄鋼事業部門

7,425 億円

(前年同期比 △6.9%)



- 鋼材販売数量：造船向け需要が堅調に推移するも、国内新車販売の前年割れなどから、前期並
- 鋼材販売価格：主原料価格の値下がりの影響や海外市況低迷などから、前期を下回る
- 鋳鍛鋼品売上高：国内造船向け需要が堅調に推移し、前期比増
- チタン製品売上高：航空機向け数量増加などから、前期比増
- 経常利益：自動車向け需要減少に伴う品種構成変化、主原料価格下落に伴う在庫評価影響の悪化、原料権益投資での評価損計上などにより、前期比251億円減益の36億円

加古川製鉄所 溶銑処理工場



溶接事業部門

922 億円

(前年同期比 △2.4%)



- 溶接材料販売数量：国内造船向け需要堅調も、建築向け需要回復遅れや中国・東南アジア・米国での需要減少により、前期比減
- 溶接システム売上高：需要が堅調に推移し、前期比増
- 経常利益：前期比21億円減益の81億円



溶接ロボット ARC MAN™-GS



アルミ・銅事業部門

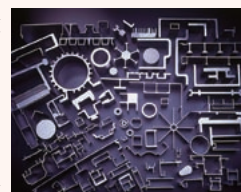
3,454 億円

(前年同期比 +4.4%)



- アルミ圧延品販売数量：飲料用缶材の需要堅調、輸出を中心とした自動車向け拡販効果もあり、前期比増
- アルミ鑄造品売上高：米国での自動車向け需要堅調で、前期比増
- 銅圧延品販売数量：半導体向け需要が減少し、前期比減
- 経常利益：在庫評価影響悪化により前期並の151億円

アルミ押出材





機械事業部門

1,590 億円
(前年同期比 $\triangle 0.1\%$)



- 受注高：石油精製向け圧縮機受注減も、産業機械の石油化学向け大型樹脂機械案件受注などにより、前期並の1,404億円
- 当期末受注残高：1,338億円
- 経常利益：競争激化による採算低下などから、前期比36億円減益の67億円



汎用圧縮機「Kobelion VS」



エンジニアリング 事業部門

487 億円
(前年同期比 $\triangle 0.6\%$)



- 受注高：アルジェリアでの大型還元鉄プラント案件受注などにより、前期比100.2%増の506億円
- 当期末受注残高：768億円
- 経常利益：前期比2億円増益の10億円



MIDREX®プラント
(オマーン)



神鋼環境ソリューション

830 億円
(前年同期比 $+21.8\%$)



- 受注高：廃棄物処理関連事業での複数の大型案件受注などにより、前期比12.4%増の785億円
- 当期末受注残高：445億円
- 経常利益：前期比6億円増益の36億円



福井グリーンパワー大野発電所
(木質バイオマス発電設備)



コベルコ建機

2,717 億円
(前年同期比 $\triangle 12.6\%$)



- 油圧ショベル販売台数：前期比減
〔国内〕更新需要の一巡により減
〔海外〕中国、東南アジアの景気減速の影響大きく減
- 経常損益：前期比355億円減益の144億円の損失



50トン級建物解体専用機
[SK550DLC]

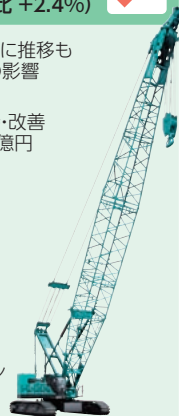


コベルコクレーン

727 億円
(前年同期比 $+2.4\%$)



- 販売台数：国内需要は堅調に推移も東南アジアでの景気減速の影響大きく、前期比減
- 経常利益：製品の品質維持・改善費用増加により、前期比27億円減益の24億円



本格基礎土木仕様のベースマシン
クローラークレーン[BM1500G]



その他

745 億円
(前年同期比 $\triangle 2.0\%$)



- 神鋼不動産：
〔賃貸事業〕堅調に推移
〔分譲事業〕引渡戸数減少
- コベルコ科研：
〔試験研究事業〕自動車関連需要堅調に推移
- その他の事業全体の経常利益：前期比2億円増益の73億円



ジーケルフ加古川
野口町レジデンス

(注) 枠内の数字は売上高を記載しています。

● 鉄鋼事業部門 ○ アルミ・銅事業部門 ● 機械事業部門 ● 本社

アルミ・銅事業部門

米国自動車サスペンション用アルミ鍛造工場の生産設備増強

2003年設立の自動車サスペンション用アルミ鍛造部品の製造・販売会社である「Kobe Aluminum Automotive Products, LLC (当社、三井物産株式会社および豊田通商株式会社の合弁会社。以下 KAAP社)」は、現在、溶解鋳造2ライン、鍛造プレス6機を擁し、北米市場で積極的に事業を展開しています。一方、米国の自動車市場は、今後ますます拡大し、あわせて燃費規制強化による車体軽量化ニーズも一層高まっていくと考えられます。

そこで、KAAP社は、拡大する需要を取り込むべく、2017年からの順次稼働開始を目指して、溶解鋳造1ライン・鍛造プレス2機などの生産設備の増強をこの度決定しました。この増強により、生産能力は現在の約1.8倍になります。KAAP社では、今後も、北米のアルミ鍛造サスペンション市場におけるトップの地位を盤石にするべく、積極的な事業展開を目指します。

機械事業部門

汎用圧縮機事業におけるインド新会社の本格営業開始

マーケティング・営業・アフターサービスを目的とした「Kobelco Compressors India Pvt. Ltd.」を設立。本格的な営業活動開始。

鉄鋼事業部門

タイにおける線材製造拠点設立決定

当社は、タイを含むアセアン諸国において、自動車生産台数の堅調な増加により線材の需要拡大が予想される中、Millcon Steel Public Company Limitedとの間で、タイにおける線材の圧延および販売を目的とした合弁会社「Kobelco Millcon Steel Co., Ltd.」の設立に合意しました。同社は、特殊鋼線材の生産に向けた設備導入や準備作業を本格化させ、特殊鋼線材の製造を2017年5月から開始する予定です。当社としては、初めての海外における線材圧延の製造拠点であり、東南アジア地域における線材の現地供給体制がさらに整います。

当社は、線材から二次加工までのサプライチェーン強化により、高品質な製品のタイムリーな供給を行ない、成長が見込まれる東南アジアの需要を捕捉します。



Kobelco Millcon Steel Co., Ltd. 工場

2015

10月

(平成27年)

11月

12月

2016

1月

(平成28年)

2月

3月

本社

2年連続で経済産業省・東京証券取引所による「健康経営銘柄」に選定

従業員への健康保持・増進活動を推進する企業を選定する「健康経営銘柄」に2年連続で選定

本社

トムソン・ロイター

「Top100グローバル・イノベーター2015」を受賞

優れた研究開発活動によって独創的な知的財産を生み出し、その高い技術力が評価された企業や機関を表彰する同賞を2年連続受賞

機械事業部門

汎用圧縮機事業におけるタイ新会社の本格営業開始

マーケティング・営業・アフターサービスを目的とした「Kobelco Compressors (Thailand) Ltd.」を設立。本格的な営業活動開始。

本社

女性活躍推進に優れた企業として「なでしこ銘柄」に初選定

当社は、経済産業省と東京証券取引所が、女性の労働環境整備を含め、女性の登用など活躍推進を積極的に進めている企業として紹介する「なでしこ銘柄」に選ばれました。

当社では、多様な背景や価値観を持つ人たちの職場での十分な力の発揮が、組織全体の成長や活力ある事業展開につながることを考え、ダイバーシティ推進を重要な経営課題としています。当社は、ダイバーシティ推進室を設置し、まずは女性の活躍促進から取り組む方針のもと、女性総合職の採用比率向上や育児／介護との両立支援等の就業継続支援や活躍支援に取り組んでいます。

機械事業部門

水素ステーション総合テストセンター設置

当社は、水素ステーションの実運用に近い形で様々な運転パターンや水素充填シミュレーションの検証が可能な「水素ステーション総合テストセンター」を高砂製作所内に新設しました。

燃料電池自動車の本格的な普及に伴い、様々なニーズに応じた製品開発を進めるため、様々な条件で機器の運転状態を検証できる本センターを活用し、市場ニーズに合った製品開発を進めます。



水素ステーション総合テストセンター

当社ホームページではこのほかにも、様々なトピックスをご紹介します。
<http://www.kobelco.co.jp>

当社は株主の皆様へ当社へのご理解を一層深めていただくために、引き続き株主様見学会を実施いたします。今回ご覧いただくのは、**真岡製造所**でございます。つきましては下記の内容にて開催いたしますので、ご案内申し上げます。



開催場所：真岡製造所(栃木県真岡市鬼怒ヶ丘15)

対象者：平成28年3月31日現在、当社株式1,000株以上を
 所有の株主様

募集人数：240名(各回60名)

※募集人数には同伴者様も含まれます。

参加費：無料(※ただし、集合・解散場所までの往復交通費は各自
 にご負担とさせていただきます。)

株主様見学会の概要

申込番号	開催場所	実施日時 (平成28年)	集合時刻	解散予定時刻	集合・解散場所
①	真岡製造所	11月13日	8:50	13:20頃	JR宇都宮駅付近※
②			12:25	17:00頃	
③		11月14日	8:50	13:20頃	
④			12:25	17:00頃	

※JR宇都宮駅までの所要時間:JR東京駅から東北新幹線で約50分。

※詳細は、ご招待状にてご連絡させていただきます。

以下の点につき、あらかじめご了承ください。

※株主様見学会コースは比較的長い距離の徒歩での移動となります。
 途中何ヶ所か階段がございます。

※ご応募が多数の場合、抽選とさせていただきます。

抽選の結果は9月上旬にご通知する予定です。

※同伴者様は1名まで(小学生以上)とさせていただきます。

なお、同伴者様がいらっしゃる場合は必ず参加申込はがきに同伴者様に関する必要事項をご記入ください。

申込後に、同伴者様の追加はお受けすることができません。

※以下の場合、ご応募は無効とさせていただきます。

- 株主様ご本人のご応募・ご参加でない場合
- 同伴者様を2名以上ご記入の場合
- 申込番号を2つ以上選択されている場合、もしくは1つも選択されていない場合
- 株主様1名につき、2枚以上ご応募された場合
- 株主様お名前等、必要事項のご記入がない場合

応募方法：同封の参加申込はがきに必要事項をご記入のうえ、ご返送ください。

(対象者の方にのみ、はがきを同封しております。)

【締切日:平成28年7月22日(金)到着有効】

お問い合わせ先：株式会社神戸製鋼所 法務部 株主様見学会係

TEL 078-261-4067

受付時間 10:00~17:00(土・日、祝日、その他会社の休業日を除く)

これまでの開催実績(過去5回分)

	日 時	開催場所	募集人数	ご応募総数
第13回	平成26年 3月	加古川製鉄所・コベルコ建機広島事業所	450人	2,306通
第14回	平成26年 11月	真岡製造所	240人	1,447通
第15回	平成27年 3月	神戸総合技術研究所・神戸製鉄所	290人	3,026通
第16回	平成27年 11月	高砂製作所	320人	2,202通
第17回	平成28年 3月	加古川製鉄所・コベルコ建機広島事業所	450人	2,297通

環境への取組みと社会との共生

神戸製鋼グループは、地球環境の保全が全ての生命体に共通する最も重要な課題であり、より健全な地球環境を次世代に引き継ぐことが私たちの使命であると認識し、環境経営基本方針を策定して、事業活動のあらゆる面で環境に配慮する環境経営の推進に努めています。

■環境経営基本方針

『グループ環境経営の実践によるさらなる企業価値向上』

—— グループの環境力向上 ——

神戸製鋼グループは、環境先進企業グループとして

1. 環境に配慮した生産活動
2. 製品・技術・サービスでの環境への貢献
3. 社会との共生・協同

を実践することにより、社会的責任を果たすと共に、環境力を高め企業価値を向上させる。

■「第3回 KOBELCO 森の童話大賞」表彰式の開催

「第3回 KOBELCO 森の童話大賞」では、応募総数574件の中から、各賞11名が選ばれました。1月24日に灘浜サイエンススクエアにて表彰式を行ないました。金賞2作品は絵本となり、環境啓発ツールとして活用いただくため、兵庫県をはじめとする後援自治体の学校や公立図書館などに寄贈いたしました。



受賞者



絵本(金賞作品)

■長府製造所が省エネ大賞 「省エネルギーセンター会長賞」受賞

当社アルミ・銅事業部門の長府製造所は、一般財団法人省エネルギーセンターが主催する「平成27年度 省エネ大賞」の省エネ事例部門において、「省エネルギーセンター会長賞」を受賞しました。本賞は、省エネルギーに関する取組みについて優れた成果を表彰するものです。

長府製造所では、生産設備のエネルギー使用量の見える化に取り組み、従来の「スタッフによる設備改造・更新を主としたハード面の改善」から、「実際に生産設備を操作するオペレーターを巻き込んだ操業方法・製造条件などのソフト面の改善」へと省エネ活動の内容をシフトしてきました。具体的には、省エネ提案賞の設置や標語・ポスターの掲示等を通じ、省エネ活動の活性化を図っていく中で、2014年度QCサークル活動として65件の改善を行ない、2015年1～3月のエネルギー原単位(単位量(1トンあたり)の製品を生産するのに必要なエネルギー量)を2013年度比9%削減しました。

当社では、省エネ活動の推進を経営的課題として捉え、グループ会社を含む各事業所の省エネルギーに係る人材育成と技術支援に取り組んでいます。今後も省エネルギー活動を積極的かつ継続的に行なうことを通じて、省エネルギー型社会の構築に寄与します。



表彰式の様子

社会貢献への取組み

■社会との共生

神戸製鋼グループは、未来を担う子供たちの成長をお手伝いするため、様々な活動を行なっています。

2006年度に設立した「コベルコ地域社会貢献基金」では、子供たちの健全な育成をお手伝いすべく、主に遊具や教材などを毎年寄贈しています。2012年度以降はグループ会社も加わり、2015年度の対象エリアは、神戸製鋼グループの事業所・研究所が立地する15市1町となりました。

また、当社は、当社が支援するNPO法人「SCIX(シックス)」が考案した球技「スペースボール」を近隣の小学生に体験していただく際のお手伝いをしています。「スペースボール」は、子供たちの身体能力の向上やチームプレーの習得を促すもので、当社が運営し、子供を含む地域の方に開放している科学館「灘浜サイエンススクエア」の見学とセットで体験いただいています。

神戸製鋼グループは、今後も、こうした活動を継続し、社会との共生を図っていきます。



「コベルコ地域社会貢献基金」の活動の一環として、子どもの警護ボランティア団体に備品を寄贈



スペースボールを体験する子どもたち

ラグビーを通じての活動

■ラグビーの普及活動

当社ラグビー部、神戸製鋼コベルコスティーラーズは、ラグビーを通じて地域・社会との交流やスポーツの裾野を広げる活動を行なっています。

主な活動は、兵庫県のラグビースクールでの指導や、神戸市の小学校を中心に行なっている出張タグラグビー教室です。タグラグビーとは、安全で誰にでも手軽に楽しめる、タックルやスクラムなどの接触プレーがないラグビーです。当社ラグビー部は、子供たちには、ラグビーを通じて、友達を思いやる心を学んでもらおうと、「思いやりパス」を合言葉に子供たちの指導に取り組んでいます。

このほか、地域住民やファンの方々との交流を深めるとともに、ラグビーを知らない方にラグビーの良さを伝え、ラグビーに興味を持っていただくために、地域のお祭りやトークショー等のイベントに選手やマスコットキャラクターの「コーロクン」が参加しています。

今後も当社ラグビー部は、ラグビーを通じて地域・社会と積極的に交流を図り、多くの方々にラグビーの魅力を伝えるよう努力していきます。



タグラグビー教室の様子



イベントを盛り上げる選手たち

事業分野

(平成28年3月31日現在)

鉄鋼事業部門

条鋼(普通線材、特殊線材、特殊鋼線材、普通鋼棒鋼、特殊鋼棒鋼)、鋼板(厚板、中板、薄板<熱延・冷延・表面処理>)、鋼片、鍛鋼品(船用部品・電機部品・産業機械部品等)、チタンおよびチタン合金、鉄粉、鋳物用銑、製鋼用銑、スラグ製品、ステンレス鋼管、建材、各種特殊鋼製品、各種鋼線、電力卸供給

溶接事業部門

溶接材料(各種被覆アーク溶接棒、自動・半自動溶接用ワイヤ、フラックス)、溶接ロボット、溶接電源、各種溶接ロボットシステム、溶接関連試験・分析・コンサルティング業

アルミ・銅事業部門

アルミ圧延品(飲料缶用アルミ板、熱交換器用アルミ板、自動車用アルミ板、各種アルミ押出品、磁気ディスク用アルミ基板)、銅圧延品(半導体用伸銅板条、自動車端子用伸銅板条、リードフレーム、復水管、空調用銅管)、アルミニウム合金およびマグネシウム合金鍛造品(航空機用部品、自動車用部品等)、アルミ加工品(自動車用部品、建材、建設用仮設資材等)

機械事業部門

エネルギー・化学関連機器、原子力関連機器、タイヤ・ゴム機械、樹脂機械、超高压装置、真空成膜装置、金属加工機械、各種圧縮機、冷凍機、ヒートポンプ、各種プラント(製鉄圧延、非鉄等)、各種内燃機関

エンジニアリング事業部門

製鉄プラント(還元鉄)、各種プラント(ペレタイジング、石油化学等)、原子力関連プラント、砂防・防災製品、土木工事、新交通システム

神鋼環境ソリューション

水処理プラント、廃棄物処理プラント、化学・食品関連機器

コベルコ建機

油圧ショベル、ミニショベル、ホイールローダ

コベルコクレーン

クローラークレーン、ラフテレーンクレーン、作業船

その他

不動産開発・建設・分譲・仲介・リフォーム、不動産賃貸・ビルマネジメント、マンション管理、特殊合金他新材料(ターゲット材等)、各種材料の分析・解析、高压ガス容器製造業、超電導製品、有料老人ホームの運営、総合商社

連結子会社および持分法適用会社 [213社]

※印は持分法適用会社であります。(平成28年3月31日現在)

鉄鋼事業部門：44社

日本高周波鋼業株式会社、神鋼特殊鋼管株式会社、神鋼建材工業株式会社、神鋼神戸電機株式会社、神鋼物流株式会社、神鋼ボルト株式会社、堺鋼板工業株式会社、株式会社神鋼エンジニアリング & メンテナンス、株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ、*神鋼鋼線工業株式会社、*関西熱化学株式会社、*日本エアロフォーシ株式会社、*株式会社テザックワイヤロープ、*PRO-TEC Coating Company、*鞍鋼神鋼冷延高張力自動車鋼板有限公司、*神鋼新確弾簧鋼線(佛山)有限公司、*Kobelco Millcon Steel Co., Ltd. 他

溶接事業部門：22社

エヌアイエル株式会社、青島神鋼溶接材料有限公司、Kobe Welding of Korea Co., Ltd. 他

アルミ・銅事業部門：23社

株式会社コベルコ マテリアル銅管、神鋼汽車鋁材(天津)有限公司、神鋼汽車鋁部件(蘇州)有限公司、Kobe Aluminum Automotive Products, LLC、Kobe Precision Technology Sdn. Bhd. 他

機械事業部門：22社

コベルコ・コンプレッサ株式会社、神鋼造機株式会社、神鋼圧縮機製造(上海)有限公司、Kobelco Compressors America, Inc.、*無錫圧縮機股份有限公司 他

エンジニアリング事業部門：16社

Midrex Technologies, Inc. 他

神鋼環境ソリューション：15社

株式会社神鋼環境ソリューション、神鋼環境メンテナンス株式会社 他

コベルコ建機：33社

コベルコ建機株式会社、東日本コベルコ建機株式会社、西日本コベルコ建機株式会社、成都神鋼工程機械(集團)有限公司、成都神鋼建設機械有限公司、杭州神鋼建設機械有限公司、成都神鋼建機融資租賃有限公司、Thai Kobelco Construction Machinery Ltd.、Kobelco International (S) Co., Pte. Ltd.、Kobelco Construction Machinery Europe B.V.、Kobelco Construction Machinery USA, Inc.、Kobelco Construction Equipment India Pvt. Ltd. 他

コベルコクレーン：10社

コベルコクレーン株式会社 他

その他：28社

神鋼不動産株式会社、株式会社コベルコパワーマー真岡、株式会社コベルコ科研、神鋼投資有限公司、Kobe Steel USA Holdings Inc.、*神鋼商事株式会社 他

取締役および執行役員

(平成28年6月22日現在)

取締役会長兼社長(代表取締役)
川崎 博也

■本社

取締役副社長執行役員(代表取締役)
梅原 尚人

常務執行役員
河原 一明

執行役員
勝川 四志彦

取締役常務執行役員
三宅 俊也

常務執行役員
山本 浩司

専務執行役員
森地 高文

執行役員
大久 保安

■鉄鋼事業部門

取締役副社長執行役員(代表取締役)
* 尾上 善則

専務執行役員
柴田 耕一朗

執行役員
宮崎 庄司

専務執行役員
宮下 幸正

常務執行役員
松原 弘明

執行役員
永良 哉

専務執行役員
水口 誠

常務執行役員
岡 欣彦

執行役員
西村 悟

■溶接事業部門

取締役専務執行役員
* 輿石 房樹

執行役員
山本 明

■アルミ・銅事業部門

取締役副社長執行役員(代表取締役)
* 金子 明

常務執行役員
藤井 拓己

常務執行役員
加藤 宏

執行役員
磯野 誠昭

■機械事業部門

取締役専務執行役員
* 山口 貢

専務執行役員
大瀨 敬織

執行役員
竹内 正道

■エンジニアリング事業部門

取締役専務執行役員
* 眞部 晶平

常務執行役員
森崎 計人

常務執行役員
石川 裕士

■電力事業部門

常務執行役員
* 北川 二郎

■取締役(非常勤)

取締役
樫木 一秀 (コベルコ建機株式会社取締役社長兼任)

■社外取締役

取締役
* 北畑 隆生

取締役
* 越智 洋

■監査等委員

取締役(監査等委員・常勤)
藤原 寛明

取締役(監査等委員)
* 沖本 隆史

取締役(監査等委員)
* 千森 秀郎

取締役(監査等委員・常勤)
山本 敬藏

取締役(監査等委員)
* 宮田 賀生

※印は、各事業部門長であります。

*印は、社外取締役であります。

会社の概要

(平成28年3月31日現在)

- 創 立 明治38年9月
- 資 本 金 2,509億3,003万3,900円
- 発行済株式総数 36億4,364万2,100株
- 株 主 数 220,011名
- 従 業 員 数 10,833名

事業所

神戸本社 〒651-8585 神戸市中央区脇浜海岸通二丁目2番4号

☎078(261)5111(大代表)

東京本社 〒141-8688 東京都品川区北品川五丁目9番12号

☎03(5739)6000(大代表)

支 社 大阪・名古屋

支 店 北海道(札幌市)・東北(仙台市)・新潟(新潟市)・
北陸(富山市)・四国(高松市)・中国(広島市)・
九州(福岡市)・沖縄(那覇市)

海 外 ニューヨーク・シンガポール・上海

(注)[海外]には現地法人を含めております。

研 究 所 神戸

製鉄所・工場 〈鉄鋼〉加古川・神戸・高砂
〈溶接〉藤沢・茨木・西条・福知山
〈アルミ・銅〉真岡・長府・大安
〈機械、エンジニアリング〉高砂・播磨

神戸製鋼グループ企業理念

当社グループは、下記の企業理念のもと、株主・投資家・顧客や取引先、従業員、地域社会など、あらゆるステークホルダーの皆様に対して、企業としての社会的責任を全うできるよう努力を続けることにより、持続的な企業価値の向上を目指してまいります。

1. 信頼される技術、製品、サービスを提供します
2. 社員一人ひとりを活かし、グループの和を尊びます
3. たゆまぬ変革により、新たな価値を創造します

インターネット ホームページ <http://www.kobelco.co.jp>

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
定時株主総会	6月	特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
基準日	定時株主総会 3月31日 剰余金の配当 期末 3月31日 中間 9月30日	同事務取扱場所	大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行業
公告方法	電子公告(当社ホームページをご覧ください。) http://www.kobelco.co.jp		

株式に関するご案内

当社の株式に関する住所・氏名等の変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取・買増請求および相続などのご相談、お手続きは、以下のとおりです。

- ①証券会社にお預けの株式について
お預けの証券会社にお問い合わせください。
- ②証券会社にお預けでない株式について
三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください。

未受領配当金のお受け取りのお手続きについては、三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください。

〈郵便物および電話でのお問い合わせ先〉
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行業

☎ 0120-094-777
(通話料無料:オペレーターがお伺いいたします。)
土・日、祝日、年末年始を除く9:00～17:00

現在株券をお持ちの株主様や、以前株券をお持ちで現在株券の所在がわからなくなった株主様は、「特別口座」で管理されている可能性がありますので、三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください。「特別口座」では単元株式の売買はできません。証券会社にお預けでない株式について、証券会社の口座に移管することをお奨めします。

※「特別口座」とは、平成21年1月の株券電子化の際に、証券会社に預けられていない株式を管理するために、当社が開設した口座のことです。

株式の併合および単元株式数の変更の件

本年10月1日に当社株式について、10株を1株に併合するとともに、単元株式数を1,000株から100株に変更します。それに伴う株主様への影響は、同封の「第163回定時株主総会決議ご通知」の4ページに記載のとおりですので、ご覧ください。